t-take.com

阪急宝塚本線
箕面線・能勢電鉄線
阪急時刻表
特製列車運行図表

-2022-12-17 ダイヤ改正-

OuDiaSecondV2　非公式自家製

※この列車運行図表は、自家製の特製・非公式です。**駅など、現場への問い合わせは絶対にしないで下さい。**

※回送時刻、営業列車を含む着発線は、異なる場合があるなど、記入ミスの可能性があります。

※今後、内容の訂正を行う場合があります

阪急～能勢電
日生中央・妙見口への足
平日朝上り・夜下りは、大阪梅田直通
「特急日生エクスプレス」運転

ニュータウンと大阪、阪急各方面の通勤通学に便利な大阪梅田直通
昼間と土休日は普通 10 分間隔運転で、川西能勢口接続も考慮
(※笹部・光風台・ときわ台・妙見口は山下で乗り換え)

@ttakewebpage
(C)t-take.com 列車番号てぃーていく
2024-2-4

※二次利用・フリマアプリ販売行為は禁止。
無料で公開のものです。

① この用紙を三つ折にし、山折り→②PDFダイヤ最初の駅名部分を「この枠内に糊代貼り付け」→③蛇腹ダイヤ作成→④説明の蛇腹作成は裏表紙等ご自由に…。

(C)列車番号てぃーていく
Twitter @ttakewebpage

	列車種別名	略称	背景色	線スタイル
0	普通	普通		
1	(途中駅始発)普通	途普		
2	(区間)普通	区普		
3	(2両)普通	2R普		
4	準急	準急		
5	急行	急行		
6	(雲花)急行	雲急		
7	日生特急	日生		
8	通勤特急	通特		
9	回送	回送		
10	不定期	不/試		

【ダイヤの種別色と線種について】
左記の通りです。

「回送」は**灰色線**、「雲雀丘花屋敷折返の急行」は**破線**

「通勤特急」は、**一点鎖線**としています。

能勢電で 2 両の普通も、別途区別しています。

このため、実際の列車運行図表のダイヤの種別色、線別ではありません。このダイヤで分かりやすいように、独自となります。

【この「特製列車運行図表」について】
ダイヤ改正と直後で、時刻表が掲載・配布でしたが、現在は掲載・配布終了の模様です。

このため、この補完として、列車をご利用される際などの参考情報として掲載しています。過去に掲載していました「特製時刻表」ではなく「ダイヤグラム」で掲載します。

更に、2024/3 月発売の JTB 私鉄時刻表に、アプリとなる JR 時刻表 Lite(課金必要)も、併せてご覧下さい。

このため、鉄道会社製作ではない「非公式」となります。着発線、時刻など、記載の情報で記入ミスの場合があります。適時訂正していますが、**間違っている＋誤記による損害等は、当方では一切負えません。**

【能勢電の運用について】
このダイヤ改正で、4 両 7 運用、2 両 2 運用と、4 両 2 運用減となっています。日中の運転が、川西能勢口－日生中央のみとなり、妙見口方面は、山下乗り換えが発生のため、特に、妙見口方面で利便性が低下していますが、乗り換えの時間で余裕化により、対応の模様です。

運番で、宝塚線と能勢電で、同じ運番が存在する場合がありますが、「N」を入れて区別する方法は、今回から混乱防止により、全て取りやめています。

【箕面線の運用について】
宝塚線直通列車が廃止となり、こちらも、石橋阪大前乗り換えとなります。運用については確認していますが、石橋阪大前 4 号線扱いの列車がありません。

【日中の大阪梅田折返について】
急行→普通、普通→急行と、今回のダイヤ改正から、一部を除いて、同一種別折返から、種別の変更となります。折返号線の制約、入線待ちの解消ではと思われます。

【ダイヤについて】
時刻表形式による公開ではなく、スジ形式<左画像>となっておりますので、最初は難しいかもしれませんが、慣れると、列車の動きや待避駅も一目瞭然で、簡単です。

横の X 軸が時間(3 時間見開き目盛 1 分単位)、縦の Y 軸が駅となり、スジの時間経過と駅との比較、列車ダイヤの動きから、駅の時刻を図表化したものになります。

この色や線の種類で、種別を表します。主要駅では、着発線を記入、これらは記入ミスの場合があります。ダイヤの都合や乱れ等で変わる場合があります。

阪急 HP での駅掲出時刻表・時刻表の記載と併せてご確認下さい。

【運用番号について】
上図、終端駅折返にある「103」「7060」は、運用表上での整理番号となります。

阪急公式での運用番号は不明です。このため、初列車の運番で、整理番号の数字としています。

この内、最後の「N」で、能勢電乗り入れの阪急車運用、最初の「N」で、能勢電運用となります。

運番で、両数記載はありません。基本は 8 両編成に、箕面線と能勢電は 4 両、能勢電の 2 両はスジで区別します。

【回送運番と時刻について】
運番の裏取りが出来ておりますが、異なる場合があります。回送の待避駅、時刻などは、充分に裏取りはしましたが、多少前後する場合や、未確認・推測の場合があります。また、秒は省略しています。

雲雀丘花屋敷での入換号線と、そのタイミングが、実際と異なる場合がありますが、前後の運用は確定です。

【駅留置について】
豊中、石橋阪大前、池田、川西能勢口、雲雀丘花屋敷、箕面、平野、日生中央と限定的で、他は全て、平井車庫・平野車庫からとなります。

日によって、保線作業などで留置号線は異なる場合があり、所定号線戻しの入換もあります。何れも留置位置は確認済です。

豊中は高架橋の留置線が 2 線分ありますが、これは、地上駅時代から元々、留置線が存在(但し、現在の浜側ではなく、山側に 2 線分)だった名残で、同時に高架化となっています。

【運用数について】
8 両 30 運用、箕面線 3 運用となります。

この改正で、8 両 2 運用減により、8 両予備車がその分増えていましたが、内 1 編成(5100F)は、既に廃車となっています。他、10 両 4 運用減(2 両 4 運用減)となっています。

能勢電については先述の通りです。

【その他】
試運転や、不定期回送は未掲載とします。臨時列車は、その回送列車も含めて、把握出来ている範囲で掲載しますが、途中駅の時刻は前後する場合があります。

駅留置設定駅は、出庫を 4:30・入庫を 1:30 として扱い、その留置着発線での長い線で区別しています。

一部駅の着発線は、駅掲出時刻表にも表示されています。

「TST」「OST」は、宝塚方・大阪方での本線上の入換を表します。

【引用出典等】
当方での独自調査
駅掲出時刻表(実際の駅掲出、ホームページを含む)
駅すぱあと時刻表
デジタル JR 時刻表 Lite アプリ
私鉄時刻表
阪急沿線アプリ(列車走行位置)

その他、運用表製作にご協力して頂いた多くの皆様には、この場をお借りし、感謝を申し上げます。誠に、ありがとうございました。

列車番号てぃーていく、t-take.com

t-take.com
(C)列車番号てぃーていく
Twitter @ttakewebpage
2019-7-21
https://t-take.com
http://ttakewebpage.com